

# NAIL SPECIALIST

## ネイル スペシャリスト 技能検定試験

試験要項



NPO法人  
インターナショナル ネイル アソシエーション  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-5-1 ボックスハツミ5F  
Tel 03-6277-3877 Fax 03-6277-3897

[www.i-nail-a.org](http://www.i-nail-a.org)

2016/1/2000/I-NAIL-A技能検定執行委員会発行



## ネイルスペシャリスト技能検定試験

【試験構成】	A級 SA級 PA/AA/AAA級
【受験資格】	義務教育修了者(未修了者は保護者の承諾書を提出)。 飛び級有り。 (A級の認定が無い場合でもSA級、A級・SA級の認定が無い場合でもPA/AA/AAA級を受験できます。)
【認定基準】	A級 SA級 PA/AA/AAA級それぞれ実技試験と学科試験の合格で認定。 * 実技試験／学科試験どちらかのみが合格した場合、再受験の際は合格科目が受験免除となる。(免除期間の制限なし。)
【受験料】	A級10,000円(税別) * 免除科目があり、実技試験／学科試験のいずれかのみ受験の場合は7,000円(税別) SA級12,000円(税別) * 免除科目があり、実技試験／学科試験のいずれかのみ受験の場合は9,000円(税別) PA/AA/AAA級15,000円(税別) * 免除科目があり、実技試験／学科試験のいずれかのみ受験の場合は12,000円(税別)

学科試験	時間30分 マークシート方式
【合格基準】	出題 50 問(1 問2点)のうち 40 問以上正解(80 点以上)で合格とする。
【内容】	ネイルの衛生学 人体のしくみ ネイルとその異常 マニキュアリストの化学 ネイル概論 ネイルの技術
【参考テキスト】	『ネイル・プロフェッショナル』『ネイル・プロフェッショナル ジェルネイル編』『検定試験対応例題集』
●受験者は筆記用具(鉛筆・消しゴム)を必ず持参すること。試験中の貸し借りは禁止。試験会場での貸し出しは行いません。 ● <u>筆記用具が無い場合は試験を受けることができませんので、失格となります。</u>	

### 実技試験

A級	SA級	PA/AA/AAA級
<p>テーブルセッティング 10分</p> <p>＊同時にモデルチェックを行います。</p> <p>▼</p> <p>ネイルケア 30分 ▷ 審査</p> <p>▼</p> <p>カラーリング 25分 ▷ 審査</p> <p>両手マツト赤</p>	<p>テーブルセッティング 10分</p> <p>＊同時にモデルチェックを行います。</p> <p>▼</p> <p>ネイルケア 30分 ▷ 審査</p> <p>▼</p> <p>アーティフィシャルネイル 20分 ▷ 審査</p> <p>右手チップオーバーレイ 1本</p> <p>▼</p> <p>カラーリング 25分 ▷ 審査</p> <p>両手パールホワイト</p>	<p>テーブルセッティング 10分</p> <p>＊同時にモデルチェックを行います。</p> <p>▼</p> <p>ネイルケア 25分 ▷ 審査</p> <p>▼</p> <p>アーティフィシャルネイル前半 20分 ▷ 審査</p> <p>右手ネイルチップ装着、スカルプチュア／フレンチスカルプチュアのアプリケーション各1本</p> <p>▼</p> <p>アーティフィシャルネイル後半 15分 ▷ 審査</p> <p>アーティフィシャルネイル前半の仕上げ</p> <p>▼</p> <p>カラーリング 15分 ▷ 審査</p> <p>左手:マツト赤 右手:パールホワイト</p>

実技試験の合格基準

各級「各工程の詳細」に記載

- 実技試験の受験者は、使用する器具／材料を必ず持参すること。(試験会場での貸し出しは行いません。)
- 器具／材料が無く、工程が行えない場合や仕上がりに支障があった場合は、失格または減点となります。
- 試験要項に記載された事項が守られていないとみなされた場合は失格または減点となるので、要項を熟読すること。

### 学科試験／実技試験 試験全般に関する失格・減点・注意事項 (A級／SA級／PA/AA/AAA級共通)

**失格事項**

- 受験者およびモデルが遅刻した場合。(受験票に記載された時間内に受付できなかった場合。)
  - 試験運営上支障が無い場合に限り受験可能ですが、失格となります。
- 受験票を忘れ、受付時間内に身分証明書等で本人確認ができない場合。
  - 試験運営上支障が無い限り受験可能ですが、失格となります。
- 試験中、不正行為（カンニング等）があった場合。
  - 実技試験において、試験要項や手順等が記載されたものを試験中に見る（セッティングする）ことは、不正行為とみなします。
  - 実技試験において、モデルが試験内容に関する指示や指導を行っているとき審査官が判断した場合は不正行為とみなします。
  - 学科試験において、テキスト類や、他の受験者の回答を見たと審査官が判断した場合は不正行為とみなします。
- 試験中、他の受験者に迷惑が及ぶ言動が見受けられた場合や、審査官の指示に従わなかった場合。
  - 失格とし、試験会場から退出していただきます。
- 実技試験中、各工程終了の指示後にモデルの手指および爪に触れ、技術を行ったとき審査官が判断した場合。

**減点事項**

- 受験票を忘れ、受付時間内に身分証明書等で本人確認ができた場合。
  - 受験可能ですが、減点となります。
- 試験中に受験者およびモデルの携帯電話等の音（マナーモードの振動音も含む）が鳴った場合。(携帯電話等、音の鳴る機器類の電源は切り、時計、アラーム類については消音しておくこと。)

**注意事項**

- 試験中、受験者およびモデルが離席する場合は、審査官の指示に従うこと。(離席は失格、減点になりません。)
  - 実技試験中に離席した場合は、手指消毒を行った後、技術を再開して下さい。(手指消毒を行わなかった場合は減点となります。)
  - モデルの離席により技術や審査に支障が生じた場合、仕上がりに審査を含め試験および審査に関わる考慮は致しません。
  - 審査中の離席は原則として禁止としますが、止むを得ない場合は審査官に申し出て指示に従って下さい。
- 緊急用呼び出し機器類については、受付の際に申告し、許可を得て下さい。(許可を得たものについては失格、減点になりません。)

### 実技試験 受験者／モデルに関する失格・減点・注意事項

**受験者／モデル 共通事項**

- 手指および爪に施術を行えない疾患の疑いがないこと。『ネイル・プロフェッショナル』参照。
  - 審査官が疑いがあると判断した場合は、失格となります。
- 公衆衛生上不適切とみなされる皮膚への装飾（刺青、タトゥー、ボディアート等）が肘から先（指先まで）に露出していないこと。
  - 審査官が衛生上好ましくないと判断した場合は減点となります。
- 肘から先（指先まで）に装飾品類を着用してないこと。
  - 時計、アクセサリー類（外すことができない装飾品の類を含む）を着用していた場合は減点となります。

**受験者に関する事項**

- 白衣に準じた衛生的な白無地の上着を着用すること。（白衣を着用することが望ましい。）
  - フリルやリボン等の装飾が施されたものや、技術に相応しくないとと思われる過度な露出のあるもの（シースルー素材やノースリーブ、腰が露出する身丈の短い上着等）など、審査官が白衣に準じていないと判断した場合は減点となります。
- 頭髮は清潔感のあるスタイルを心がけ、技術に影響しないようまとめること。
  - 頭髮が受験者およびモデルの手指、器具／材料に触れた場合は減点となります。

**モデルに関する事項**

- カラーリングやアーティフィシャルネイルを施すに適切な爪の状態であること。 傷んで極度に薄くなった爪は不可。
  - 審査官が不適切と判断した場合は減点となります。

<ul style="list-style-type: none"><li>フリーエッジの長さは各級それぞれ次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"><li>A 級 指定無し。</li> <li>SA 級 手のひら側から見て指先（ハイポニキウムの手先でなくてよい）から1mm 程度以上あること。チップオーバーレイを施す爪は1mm以下で可。1mm 以下に削っておいてよい。（プレパレーション終了までに1mm 以下に削ること。）</li> <li>PA/AA/AAA 級 手のひら側から見て指先（ハイポニキウムの先でなくてよい）から3mm 程度以上あること。アーティフィシャルネイルを施す爪は3mm以下で可。1mm 以下に削っておいてよい。（プレパレーション終了までに1mm 以下に削ること。）</li></ul></li> <li>SA 級、PA/AA/AAA 級において、審査官が3mm 程度（SA 級は1mm 程度）以下と判断した場合は失格となります。</li></ul>
--

- フリーエッジの形（スタイル）は自由。ただし、仕上がりが10本の形（スタイル）は統一すること。
- ネイルケアで除去するルーススキンが残っていること。

<ul style="list-style-type: none"><li>原則としてナチュラルネイルであること。ただし、爪の亀裂については、以下の範囲内のリペアのみ可とする。 <ul style="list-style-type: none"><li>審査官が以下の範囲外と判断した場合、リペアが不適切と判断した場合は失格または減点となります。</li> <li>ネイルグルーまたはレジンのみを用いたリペアは本数を限定せず可とする。</li> <li>ラップ、アクリル、ジェルを用いたリペアは不可。</li> <li>ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていた場合は失格または減点となります。</li></ul></li></ul>
--

- 試験運営や技術の妨げとならないよう、過度な露出のない、試験に相応しい衛生的な身なりを心がけること。

実技試験 衛生に関する失格・減点・注意事項 (A級／SA級／PA/AA/AAA級共通)	＊以下の事項が守れていない場合は減点または失格となります。
---	-------------------------------

- 器具／材料を落とした場合の処置**

器具／材料を落とした場合は、放置せずにペーパータオルで挟んで拾い破棄し、手指を消毒してから技術を再開すること。ただし、破棄できないものは器具用消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。

  - 審査官が適切な処置がおこなわれていないと判断した場合は減点となります。
- 材料を溢した場合の処置**

放置せず、ペーパータオルで拭くなど直ちに処置すること。テーブルを汚してしまった場合は、試験終了後に審査官に申し出ること。

  - 審査官が適切な処置がおこなわれていないと判断した場合は減点となります。
- 出血が生じた場合の処置**

受験者、モデルに出血が生じた場合は放置せず、救急用具を用いて傷を消毒し、必要であれば止血する処置を行うこと。出血に起因した器具／材料は消毒後、破棄またはセッティングすること。出血の処置後は、手指消毒をしてから技術を再開すること。

  - 審査官が適切な処置がおこなわれていないと判断した場合は減点となります。

<ul style="list-style-type: none"><li><b>試験中に使用する器具／材料類の汚れの処置</b> <p>器具／材料の汚れは、コトンの容器、またはペーパータオルの袋のどちらかにセッティングした器具類の汚れを拭くためのペーパータオルで拭くこと。汚れを拭くペーパータオルは作業エリアに置くこと。(サニタリーエリアに置くことは不可。)</p> <p>汚れを拭くペーパータオルの重ね置きは不可。汚れが付着したペーパータオルは放置せずに破棄し、新しいものを取り出し交換すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>審査官が衛生的でないと判断した場合は減点となります。</li></ul></li></ul>
---

**● 技術全般**

技術者は、自分の手指や爪で甘皮を押したり、グルーやポリッシュなどのクリーン、器具類の汚れを拭くなどしないこと。試験中、作業エリア、サニタリーエリアは常に衛生的な状態を保つこと。(敷いたペーパータオルが汚れた場合は随時交換すること。)

- 審査官が衛生的でないと判断した場合は減点となります。

**テーブルセッティング例**(右利きの例) ＊下図に従ってテーブルセッティングを行って下さい。以下の事項が守れていない場合は減点となります。

<div><div><div><div><div><span></span></div></div></div><div><div><div><span></span></div></div><div><div><span></span></div></div></div><div><div><div><span></span></div></div><div><div><span></span></div></div></div><div><div><div><span></span></div></div><div><div><span></span></div></div></div></div></div> <div> <p>●テーブルの中央に白無地タオルを敷き、利き手側にゴミ袋（ジッパー付ビニール袋）をセッティングすること。</p> <p>●アームレストは白無地タオルで覆うこと。</p> <p>●器具／材料は1つのトレイにのせ、利き手側にセッティングすること。</p> <p>●照明機器のセッティングは不可。(電源は受験者1名につきネイルマシン用の1つの用意とします。)</p> <p>●試験時間を管理するための時計は、受験票の上に置くこと。</p> </div>	<div><div><div><div><div><span></span></div></div></div><div><div><div><span></span></div></div><div><div><span></span></div></div></div><div><div><div><span></span></div></div><div><div><span></span></div></div></div><div><div><div><span></span></div></div><div><div><span></span></div></div></div></div></div> <div> <p>●作業エリア／サニタリーエリアとして白無地ペーパータオルを敷くこと。</p> <p>作業エリア：作業を行うスペース。作業エリアに器具／材料を置くことは不可。</p> <p>サニタリーエリア：器具／材料を置く衛生的なスペース。サニタリーエリアで作業すること、汚れを拭くワイブやペーパータオル等を置くことは不可。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>作業エリアの白無地ペーパータオルはタオルの上に敷くこと。サニタリーエリアの白無地ペーパータオルはテーブルの上に敷くこと。</li> <li>作業エリア、サニタリーエリアとして敷いた白無地ペーパータオルは、重ね敷きせず、各工程の終了時に新しい白無地ペーパータオルに交換すること。また、汚れた場合は適宜交換すること。</li></ul> </div>
---	---

<sup>[1]</sup>
<sup>[2]</sup>



実技試験 使用する器具／材料に関する事項失格・減点・注意 (A級／SA級／PA/AA/AAA級共通) \*以下の事項が守れていない場合は減点または失格となります。

#### 使用する器具／材料

**A 級**  
手指用消毒液 / 器具用消毒液 / 救急用具 / コットン (白無地) / ウェットステリライザー / キューティクルリムーバー  
ベースコート (リッジファイラー入ベースコート可、リッジファイラー不可) / カラーポリッシュ (マット赤) / トップコート / ポリッシュリムーバー  
プッシャー / キューティクルニッパー / エメリーボード類 / バッファー類 / ウッドスティック / ダスト用ブラシ  
白無地タオル (テーブルにでる部分が白であれば可) / フィンガーボール / 白無地ガーゼ / 白無地ペーパータオル  
ゴミ袋 (ジッパー付ビニール袋) / ゴミ袋を固定するテープ / トレイ / アームレスト (タオルでも可)

#### SA 級

A 級の器具材料と以下のもの \* カラーポリッシュの色はパールホワイト (マット赤は不要)  
ネイルチップ (ナチュラルまたはクリア) / **ネイルグルー**または**レジン** / ツイザー / シザー・クリッパー・チップカッターのうち必要なもの  
**爪用消毒液** / **プライマー** / **アクリルリキッド** / **アクリルパウダー** (クリア) / スカルプチュアブラシ / ダッペンディッシュ

#### PA/AA/AAA 級

A 級の器具材料と以下のもの \* カラーポリッシュの色はマット赤とパールホワイトの両方  
ネイルチップ (ナチュラルまたはクリア) / **ネイルグルー**または**レジン** / ツイザー / シザー・クリッパー・チップカッターのうち必要なもの  
ネイルフォーム / **爪用消毒液** / **プライマー** / **アクリルリキッド** / **アクリルパウダー** (クリア・ピンク・ホワイト)  
スカルプチュアブラシ / ダッペンディッシュ

- 赤文字のものには、内容を明記したラベルを貼ること。
  - \* 試験要項と同じ表記を用いること。(例 ○手指用消毒液 ×消毒用アルコール) 誤った表記は減点となります。
  - \* 試験中、ラベルが見えにくい場合など、審査官が材料を手にとってラベルや材料を確認することがあります。
- 青文字のものは、ウェットステリライザーにセッティングすること。
- プッシャーは、A 級・SA 級はウッドスティック・メタル・ネイルマシンのいずれか、PA/AA/AAA 級はネイルマシーン(プッシャー・ブラシ)とする。
- 試験要項に記載されていない器具／材料はなるべくセッティングしないこと。
- 記載されていない溶剤類 (ブラシクリーナー等) をセッティングする場合は、内容物を明記したラベルを見やすい位置に貼ること。

使用する器具／材料のセッティング、取り扱いについて \*以下の事項が守れていない場合は減点となります。

★セッティングする全ての器具／材料は汚れていない衛生的なものとし、試験中も衛生的に取り扱うこと。

\* 審査官が衛生的でないと判断した場合は減点となります。

- 消毒液 手指用、器具用、爪用の3つ(A級は手指用、器具用の2つ)の容器をトレイの所定の位置(テーブルセッティング例参照)にセッティングすること。
  - 手指用消毒液は、速乾性擦式消毒液または消毒用エタノールを使用すること。
  - 器具用消毒液は、消毒用エタノールを使用すること。

- 救急用具 受験者およびモデルの手指を傷つけた場合に使用。傷用消毒液、消毒液を塗布する綿棒、止血用絆創膏を1つの袋にまとめ、救急用具と明記したラベルを貼ること。

- エメリーボード類／バッファー類 グリッドや形状に指定はないが、用途に適したグリッド、形状のものを使用すること。

- ウッドスティック コットンを巻かずに使用、巻いて使用どちらでも可。
  - コットンが巻かれたウッドスティックをトレイやサニタリーエリア、作業エリアに置くことは不可。(使用後はコットンをとること。)
  - ウッドスティックに巻いたコットンは兼手で取らず、ペーパータオル(コットンまたはペーパータオルの袋にセッティング)で取ること。サニタリーエリア、作業エリアとして敷いたペーパータオルで取ることは不可。

- ウェットステリライザー 器具用消毒液を入れても変質しないガラス等の器、容器。
  - 容器の底に白無地コットンまたは白無地ガーゼを敷き、器具消毒すべき箇所(キューティクルニッパーの刃先など)が浸る程度に器具用消毒液を入れること。刃先保護用のステリライザーパッド等を使用する場合も、パッドの上に白無地コットンまたは白無地ガーゼを敷くこと。
  - 試験中、ウェットステリライザーの消毒液が足りているかも配慮すること。

- トレイ セッティングした容器などが倒れた場合でも溶剤がトレイから漏れないような素材、大きさ(深さ)のもの。
  - 紙やメッシュ(網)素材は不可。

- 白無地ペーパータオル ジッパー付ビニール袋に入れ、取り出すとき以外は密封すること。
  - トレイの中、またはトレイの逆側(テーブルの上)にセッティングすること。

- コットン(白無地) \*汚れをとる際に使用する小さな白無地ペーパータオルをコットン容器にセッティングして可。
  - 蓋付容器またはジッパー付ビニール袋に入れ、取り出すとき以外は蓋をし(密封し)、ダストがかからないようにすること。
  - 容器から取り出したコットンを容器に戻さないこと。試験中は作業エリアで使用し、不衛生な(使用後の)コットンを作業エリアに放置しないこと。

- 白無地ガーゼ ビニール袋に入れ、トレイにセッティングすること。ペーパーガーゼの使用可。
  - 使用中のガーゼはサニタリーエリアまたはトレイに置くこと。ただし、トレイに置く場合はビニール袋に入れること。

- プッシャー
  - プッシャーとして使用するウッドスティックはウェットステリライザーにセッティングすること。
  - メタル、ネイルマシンのアタッチメント(プッシャー・ブラシ)はウェットステリライザーにセッティングすること。ウェットステリライザーは1つが望ましいが、アタッチメント(プッシャー・ブラシ)用のウェットステリライザーをセッティングしても可。ただし、ラベルを貼ること。

- スカルプチュアブラシ 試験中、ブラシの先が他の器具／材料に触れないよう、ダストがかからないよう配慮し衛生的に取り扱うこと。
  - トレイに置く場合は、ブラシの先が他の器具／材料(エメリーボード類など)に触れないよう、セッティングする位置やキャップをつけるなどの配慮をすること。
  - サニタリーエリアに置く場合は、ブラシ置きを用いるなど、ブラシの先がペーパータオルに直接触れないようにすること。

●ブラシは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングしたペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。サニタリーエリア、作業エリアとして敷いたペーパータオルで拭くことは不可。また、汚れを拭くペーパータオルの重ね置きは不可。汚れが付着したペーパータオルは放置せずに破棄し、新しいものを取り出し交換すること。

- アクリルリキッド／ダッペンディッシュ(蓋付ダッペンディッシュに入れた状態でセッティングして可。)
  - アクリルリキッドをダッペンディッシュに入れる場合は、アーティフィシャルネイルの時間内に行うこと。テーブルセッティングの時間内に行うことは不可。

- ベースコート／カラーポリッシュ／トップコート キャップ(刷毛)はボトルの中に戻すこと。ボトルに戻さない状態でサニタリーエリアやトレイ等に置くことは不可。

●刷毛の汚れは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングしたペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。サニタリーエリア、作業エリアとして敷いたペーパータオルで拭くことは不可。また、汚れを拭くペーパータオルの重ね置きは不可。汚れが付着したペーパータオルは放置せずに破棄し、新しいものを取り出し交換すること。(ウッドスティックに付着したポリッシュを拭く場合も同様。)

## A級実技試験 各工程の詳細

\*以下の事項が守れていないと審査官が判断した場合は、失格または減点となります。

#### 合格基準

仕上りの10本の爪の長さ／形のバランスが揃っていること。  
試験要項に記載された技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。  
得点が合格基準(80点)に達していること。

テーブルセッティング 10分 試験で使用する器具／材料のセッティング \*セッティング時間内にモデルチェックを行います。

- ① 利き手側にゴミ袋をセッティングする。(ジッパー付ビニール袋をテーブルにテープで貼って固定する。)
- ② 器具用消毒液とペーパータオルを用いて、テーブルを消毒する。(使用したペーパータオルはセッティングしたゴミ袋に捨てること。)
- ③ 試験で使用する器具／材料全てをセッティングする。(セッティング例参照)

\* 時間内にセッティングが終わらなかった場合や、時間外にセッティングを行った場合は失格または減点となります。

- セッティング時間外に靴から器具／材料を取り出す場合は、審査官の許可を得てから行って下さい。
- ウェットステリライザーのセッティングはテーブルセッティング時間内に行うこと。
- ネイルマシンを使用する場合は、テーブルセッティング時間内に電源を確認すること。
- フィンガーボールにお湯はテーブルセッティング時間内に準備すること。
- フィンガーボールに入れるお湯(水)を入れた容器はテーブルにセッティングしないこと。

審査

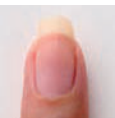
ネイルケア 30分 ファイリング／キューティクルケア／バッフィング

- ① 手指用消毒液を含ませた白無地コットンを用いて、自分の手指、次にモデルの手指を消毒する。
  - 受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用すること。
- ② エメリーボードを用いて、フリーエッジの長さど形を整える。(ネイルクリッパー等の使用不可。)
  - フリーエッジの形は自由。ただし、仕上りの長さど形が10本バランス良く揃うようにすること。
- ③ キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。 \* キューティクルリムーバーの直接塗布可。
- ④ プッシャーを用いて、キューティクルをプッシュアップする。  
プッシャーは、ウッドスティック(薄くコットンを巻く)、メタルプッシャー、ネイルマシン(プッシャー)のいずれかに限る。
  - ネイルマシンを使用する場合は、試験申込の際に申込書に必ず記入すること。(記入が無い場合使用できません。)
- ⑤ ガーゼとキューティクルニッパーを用いて、ルーススキン、さざくれを除去する。
- ⑥ バッファーまたはシャイナーを用いて、爪の表面を整える。(研磨剤の使用不可。)
- ⑦ 使用した器具／材料を全て片付け、作業エリア／サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

\* 爪10本のネイルケアが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

- ただし、ペーパータオルの交換のみが終了していない場合は減点となります。
  - プッシャーやキューティクルニッパーの汚れは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングした汚れを拭くペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。
  - 審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること。
  - キューティクルオイルの塗布は不可とする。

#### 仕上りのチェックポイント



- フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと。(フリーエッジ裏も含む)
- 爪の表面が滑らかで傷などがなく、バッフィングによるダストが残っていないこと。
- 過度なバッフィングで爪を薄くしていないこと。
- 甘皮が起きていること。
- ルーススキンが除去されていること。
- さざくれや甘皮の切り残し、切り過ぎがないこと。
- フリーエッジの長さど形がバランス良く揃っていること。  
フリーエッジの長さの指定は無し。フリーエッジの形(スタイル)は自由。  
ただし、10本の形(スタイル)が揃っていること。

カラーリング 25分 両手のカラーリング(マット赤)

- ① 爪の表面、フリーエッジの裏をポリッシュリムーバーで拭く。
- ② 爪のエッジと表面にベースコートを塗布する。
- ③ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュ(マット赤)を塗布する。(1度目)
- ④ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュ(マット赤)を塗布する。(2度目)
- ⑤ 爪のエッジと表面にトップコートを塗布する。

審査

\* 爪10本のカラーリングが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

- 刷毛やウッドスティックは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングした汚れを拭くペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。
- 審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること。
- 皮膚についてのポリッシュ類のクリーナーは、随時行うこと。
- 仕上がり後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

#### 仕上りのチェックポイント



- エッジの塗り残しがないこと。
- キューティクルラインが空きすぎず滑らかであること。
- サイドの塗り残しがないこと。
- 表面に色ムラや刷毛あとがないこと。
- 皮膚にポリッシュ類がついていないこと。

## SA級実技試験 各工程の詳細

\*以下の事項が守れていないと審査官が判断した場合は、失格または減点となります。

### 合格基準

仕上がりのフリーエッジの長さが、手のひら側から見て指先から1mm程度以上5mm程度以下で、10本の爪の長さ／形／厚さのバランスが揃っていること。

\* チップオーバーレイを施した爪の長さは3mm程度以上5mm程度以下であれば他の9本の爪の長さと同様で可、形は揃えること。

試験要項に記載された技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。

得点が合格基準(80点)に達していること。

### テーブルセッティング 10分 試験で使用する器具／材料のセッティング \*セッティング時間内にモデルチェックを行います。

A級と同様。

### ネイルケア 30分 ファイリング／キューティクルケア／バフニング

① 手指用消毒液を含ませた白無地コットンを用いて、自分の手指、次にモデルの手指を消毒する。

●受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用すること。

② エメリーボードを用いて、フリーエッジの長さと同様に形を整える。(ネイルクリッパー等の使用不可。)

●フリーエッジの長さは、手のひら側から見て指先から1mm程度以上5mm程度以下であること。

●フリーエッジの形は自由。ただし、仕上がりの長さと同様に9本バランス良く揃うようにすること。

ただし、アーティフィシャルネイルを施す爪1本のフリーエッジは1mm程度以下に削ること。

\* 1mm程度以上であった場合は失格とする。

③ キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。 \* キューティクルリムーバーの直接塗布可。

④ プッシュャーを用いて、キューティクルをプッシュアップする。

プッシュャーは、ウッドスティック(薄くコットンを巻く)、メタルプッシュャー、ネイルマシン(プッシュャー)のいずれかに限る。

●ネイルマシンを使用する場合は、試験申込の際に申込書に必ず記入すること。(記入が無い場合使用できません。)

⑤ ガーゼとキューティクルニッパーを用いて、ルーススキン、ささくれを除去する。

⑥ バフナーまたはシャイナーを用いて、爪の表面を整える。(研磨剤の使用不可。)

●アーティフィシャルネイルを施す爪は行わなくて可。

⑦ 使用した器具／材料を全て片付け、作業エリア／サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

審査

\* 爪10本のネイルケアが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

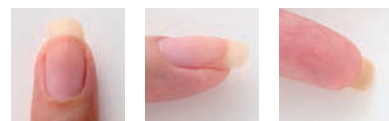
ただし、ペーパータオルの交換のみが終了していない場合は減点となります。

●プッシュャーやキューティクルニッパーの汚れは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングした汚れを拭くペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。

●審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること。

●キューティクルオイルの塗布は不可。

### 仕上がりのチェックポイント



●フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと。(フリーエッジ裏も含む)

●爪の表面が滑らかで傷などがなく、バフニングによるダストが残っていないこと。

●過度なバフニングで爪を薄くしていないこと。

●甘皮が起きていないこと。

●ルーススキンが除去されていること。

●ささくれや甘皮の切り残し、切り過ぎがないこと。

●フリーエッジの長さと同様に形がバランス良く揃っていること。

フリーエッジの長さは手のひら側から見て1mm程度以上5mm程度以下。

(チップオーバーレイを施す爪のみ1mm程度以下。)

フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、9本の形(スタイル)が揃っていること。

(チップオーバーレイを施す爪の長さと同様に、他の9本と同様で揃っていない状態になります。)

### アーティフィシャルネイル 20分 チップオーバーレイ

チップオーバーレイは右手のどの爪に施してもよい。ただし試験受付の際に申告した爪に限る。

\* 受付の際に、モデルの指にシールを貼付します。

チップオーバーレイを施すナチュラルネイルのフリーエッジの長さは1mm程度以下であること。\*1mm程度以上であった場合は失格とする。

チップオーバーレイは、フリーエッジの長さが3mm～5mm程度以内になるよう仕上げること。

① チップオーバーレイを施す。(手順を参照)

●ネイルチップの色はナチュラルまたはクリアに限る。ウェルの形状は問わないが、爪に合ったものを使用すること。

② 使用した器具／材料を全て片付け、作業エリア／サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

\* アーティフィシャルネイルが終了していない(仕上がっていない)と審査官が判断した場合は失格となります。

ただし、ペーパータオルの交換のみが終了していない場合は減点となります。

●ブラシは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングした汚れを拭くペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。

●仕上がりに後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

●ペーパータオルを交換するまでにダッペンティッシュのアクリルリキッドを処理すること。処理していない場合は減点となります。

(蓋つきの場合は蓋をする。無い場合はペーパータオルを用いてダッペンティッシュにアクリルリキッドが無い状態にする。)

### チップオーバーレイの手順

① ネイルチップを装着する箇所をエッチングし、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。

② ネイルグルー、またはレジンを用いてネイルチップを爪に接着する。

●ネイルグルー、レジンの種類、容器の形状は問わない。ネイルグルー、レジンの速乾剤の使用不可。

●ネイルチップで爪の1/2以上を覆わないこと。

●試験中、装着前にネイルチップを加工(コンタクトエリア、サイドを削るなど)してよい。(試験前の加工不可。)

③ ネイルチップの長さをチップカッター、シザー、クリッパーのいずれかを用いてカットする。

④ ネイルチップとナチュラルネイルの段差がないようブレンディングし、表面を滑らかにする。

⑤ ネイルプレートエッチングし、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒しプライマーを塗布する。

⑥ アクリルリキッドとアクリルパウダーを用いてオーバーレイする。

●アクリルパウダーはクリアに限る。

⑦ エメリーボード、バフナーを用いて、長さ、形、表面を整え、磨く。

### 仕上がりのチェックポイント

●ネイルチップがナチュラルネイルに合っていて、爪の1/2以上を覆っていないこと。

●ネイルチップとナチュラルネイルの間に空気やダストが入っていないこと。

●ネイルチップとナチュラルネイルのブレンディングが適切に施され、段差がなく、ナチュラルネイルを削り過ぎていないこと。

●ネイルチップの裏にグルーやアクリル、ダスト、削り残しのバリなどが残っていないこと、チップの裏がくすんでいないこと。

●皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にネイルグルーやアクリルがついていないこと。

●キューティクルラインとアクリルが空きすぎず、滑らかで段差がないこと。

●サイド(ストレスポイント)が適切に覆われ、滑らかで段差がないこと。

●表面に凹凸や傷がなく滑らかに磨かれていること。

●適切な厚さ(ハイポイントの位置)に仕上げられていること。

●気泡やダストがないこと。

●ナチュラルネイルと形のバランスが揃っていること。(フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、10本の形(スタイル)が揃っていること。)

長さは手のひら側から見て3mm程度以上5mm程度以下であれば、他の9本と同様で揃っていない可。

### カラーリング 25分 両手のカラーリング(パールホワイト)

① 爪の表面、フリーエッジの裏をポリッシュリムーバーで拭く。

② 爪のエッジと表面にベースコート塗布する。

③ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュ(パールホワイト)を塗布する。(1度目)

④ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュ(パールホワイト)を塗布する。(2度目)

⑤ 爪のエッジと表面にトップコート塗布する。

審査

\* 爪10本のカラーリングが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

●刷毛やウッドスティックは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングした汚れを拭くペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。

●審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること。

●皮膚についたポリッシュ類のクリーンは、随時行うこと。

●仕上がりに後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

### 仕上がりのチェックポイント



●エッジの塗り残しがないこと。

●キューティクルラインが空きすぎず滑らかであること。

●サイドの塗り残しがないこと。

●表面に色ムラや刷毛あとがないこと。

●皮膚にポリッシュ類がついていないこと。



# PA/AA/AAA級実技試験 各工程の詳細

\*以下の事項が守れていないと審査官が判断した場合は、失格または減点となります。

## 合格基準

仕上りのフリーエッジの長さが、手のひら側から見て指先から3mm程度以上10mm程度以下で、10本の爪の長さ/形/厚さのバランスが揃っていること。試験要項に記載された技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。  
得点が合格基準(PA級60点/AA級70点/AAA級80点)に達していること。

## テーブルセッティング 10分 試験で使用する器具/材料のセッティング \*セッティング時間内にモデルチェックを行います。

A級と同様。

## ネイルケア 25分 ファイリング/キューティクルケア/バッフィング

- ① 手指用消毒液を含ませた白無地コットンを用いて、自分の手指、次にモデルの手指を消毒する。
  - 受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用すること。
- ② エメリーボードを用いて、フリーエッジの長さとしを整える。(ネイルクリッパー等の使用不可。)
  - フリーエッジの長さは、手のひら側から見て指先から3mm程度以上10mm程度以下であること。
  - フリーエッジの形は自由。ただし、仕上がりの長さとしが7本バランス良く揃うようにすること。
  - ただし、アーティフィシャルネイルを施す爪3本のフリーエッジは1mm程度以下に削ること。 \*1mm程度以上あった場合は失格とする。
- ③ キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。 \*キューティクルリムーバーの直接塗布可。
- ④ ネイルマシンのプッシャーを用いて、キューティクルをプッシュアップする。  
ネイルマシンのブラシを用いて、爪の表面、フリーエッジの裏の汚れを落とす。
- ⑤ ガーゼとキューティクルニッパーを用いて、ルーススキン、ささくれを除去する。
- ⑥ バッファーまたはシャイナーを用いて、爪の表面を整える。(研磨剤の使用不可。)
  - アーティフィシャルネイルを施す爪は行わなくて可。
- ⑦ 使用した器具/材料を全て片付け、作業エリア/サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

審査

\*爪10本のネイルケアが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

- ただし、ペーパータオルの交換のみが終了していない場合は減点となります。
- プッシャーやキューティクルニッパーの汚れは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングした汚れを拭くペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。
  - 審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること。
  - キューティクルオイルの塗布は不可。

## 仕上がりのチェックポイント



- フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと。(フリーエッジ裏も含む)
- 爪の表面が滑らかで傷などがなく、バッフィングによるダストが残っていないこと。
- 過度なバッフィングで爪を薄くしていないこと。
- 甘皮が起きていること。
- ルーススキンが除去されていること。
- ささくれや甘皮の切り残し、切り過ぎがないこと。
- フリーエッジの長さとしがバランス良く揃っていること。  
フリーエッジの長さは手のひら側から見て3mm程度以上10mm程度以下。  
(アーティフィシャルネイルを施す爪のみ1mm程度以下。)  
フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、7本の形(スタイル)が揃っていること。  
(アーティフィシャルネイルを施す爪の長さとしは、他の7本と揃っていない状態になります。)

## アーティフィシャルネイル前半 20分 チップ/スカルプチュア/フレンチスカルプチュアのアプリケーション

ネイルチップ、スカルプチュア、フレンチスカルプチュアは右手のどの爪に施してもよい。ただし試験受付の際に申告した爪に限る。

\*受付の際に、モデルの指にシールを貼付します。

ネイルチップ、スカルプチュア、フレンチスカルプチュアを施すナチュラルネイルのフリーエッジの長さは1mm以下であること。

\*1mm程度以上あった場合は失格とする。

- ① ネイルチップの装着、スカルプチュア/フレンチスカルプチュアのアプリケーションを行う。(それぞれの手順を参照すること。)
  - ネイルチップ、スカルプチュア、フレンチスカルプチュアの施術順は自由。
  - ネイルチップの色はナチュラルまたはクリアに限る。ウェルの形状は問わないが、爪に合ったものを使用すること。
  - スカルプチュアはクリア、フレンチスカルプチュアはピンクとホワイトのアクリルパウダーを使用すること。
- ② 使用した器具/材料を全て片付け、作業エリア/サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

審査

\*3本のアーティフィシャルネイルが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

- ただし、ネイルチップの長さをカットしていない、ネイルフォームを外していない、ペーパータオルの交換が終了していない場合は減点となります。
- ブラシは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングした汚れを拭くペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。
  - ペーパータオルを交換するまでにダッペンディッシュのアクリルリキッドを処理すること。処理していない場合は減点となります。  
(蓋つきの場合は蓋をする。無い場合はペーパータオルを用いてダッペンディッシュにアクリルリキッドが無い状態にする。)

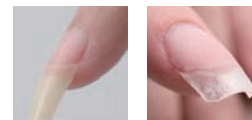
## ネイルチップの手順

- ① ネイルチップを装着する箇所をエッチングし、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
- ② ネイルグルー、またはレジンをういてネイルチップを爪に接着する。
  - ネイルグルー、レジンの種類、容器の形状は問わない。ネイルグルー、レジンの速乾剤の使用不可。
  - ネイルチップで爪の1/2以上を覆わないこと。
  - 試験中、装着前にネイルチップを加工(コンタクトエリア、サイドを削るなど)してよい。(試験前の加工不可。)
- ③ ネイルチップの長さをチップカッター、シザー、クリッパーのいずれかを用いてカットする。

## スカルプチュア/フレンチスカルプチュアの手順

- ① エッチングし、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
- ② ネイルフォームを装着し、プライマーを塗布する。
- ③ アクリルリキッドとアクリルパウダーを用いて、スカルプチュア/フレンチスカルプチュアを形成し、フォームを外す。
  - フレンチスカルプチュアのフレンチラインは爪に合ったカーブであれば深さは問わない。ピンクとホワイトは3:1~4:1程度のバランスに上げること。

## 仕上がりのチェックポイント



- ネイルチップ
- ネイルチップがナチュラルネイルに合っていて、爪の1/2以上を覆っていないこと。
  - ネイルチップとナチュラルネイルの間に空気やダストが入っていないこと。
  - ネイルチップの裏や皮膚にネイルグルーまたはレジンがついていないこと。
  - ストレスポイントがネイルチップで覆われ、欠けていないこと。



- スカルプチュア・フレンチスカルプチュア
- キューティクルラインが空きすぎず、段差がなく滑らかなこと。
  - ナチュラルネイルにあったフォルム(形/角度/カーブ)であること。
  - 仕上がりに近い長さとしと厚みであること。
  - 表面が滑らかであること。
  - キューティクルや皮膚にアクリルがついていないこと。
  - フリーエッジの裏やサイドにアクリルが流れていないこと。
  - サイド(ストレスポイント)が適切に覆われ欠けていないこと。

## アーティフィシャルネイル後半 15分 前半で形成したネイルチップ/スカルプチュア/フレンチスカルプチュアの仕上げ

- ① アーティフィシャルネイルの長さ、形、表面をエメリーボード、バッファーまたはシャイナーを用いて整え、磨く。  
ネイルチップはナチュラルネイルと段差がないようブレンディングし、表面を滑らかにする。
  - ダストはブラシやガーゼ、コットン等を用いて除去すること。
- ② 使用した器具/材料を全て片付け、作業エリア/サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

審査

\*3本のアーティフィシャルネイルが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

- ただし、ネイルチップの長さをカットしていない、ネイルフォームを外していない、ペーパータオルの交換が終了していない場合は減点となります。
- 仕上げ後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

## 仕上がりのチェックポイント



- ネイルチップ
- フリーエッジの長さが3mm程度以上10mm程度以下でナチュラルネイルとのバランス(フリーエッジの形/長さ)が揃っていること。
  - ネイルチップとナチュラルネイルのブレンディングが適切に施され、段差がなく、ナチュラルネイルを削り過ぎていないこと。
  - ネイルチップの裏にグルーやダスト、削り残しのバリなどが残っていないこと、チップの裏がくすんでいないこと。
  - ストレスポイントがネイルチップで覆われ、欠けていないこと。

- スカルプチュア/フレンチスカルプチュア
- フリーエッジの長さが3mm程度以上10mm程度以下でナチュラルネイルとのバランス(フォルム/長さ/厚み/ハイポイントの位置など)が揃っていること。
  - 厚みが適度で均一であること。
  - サイド、ストレスポイントが適切に覆われ欠けていないこと。
  - キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで段差がないこと。
  - 表面に凹凸や傷がなく滑らかに磨かれていること。
  - 気泡が入っていないこと。

- フレンチスカルプチュア
- フレンチラインに色ムラがなく、カーブや深さが爪に合っていて、滑らかで鮮明であること。
  - ピンクとホワイトの幅のバランスが適切であること。

## カラーリング 15分 両手のカラーリング(右手:パールホワイト 左手:マット赤)

- ① 爪の表面、フリーエッジの裏をポリッシュリムーバーで拭く。
- ② 爪のエッジと表面にベースコート塗布する。
- ③ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュ(右手:パールホワイト、左手:マット赤)を塗布する。(1度目)
- ④ 爪のエッジと表面にカラーポリッシュ(右手:パールホワイト、左手:マット赤)を塗布する。(2度目)
- ⑤ 爪のエッジと表面にトップコート塗布する。

審査

\*爪10本のカラーリングが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

- 刷毛やウッドスティックは、コットンを入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングした汚れを拭くペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。
- 審査の都合上、技術は全て左手小指から開始し、右手親指で終了すること。
- 皮膚についたポリッシュ類のクリーンは、随時行うこと。
- 仕上げ後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

## 仕上がりのチェックポイント



- エッジの塗り残しがないこと。
- キューティクルラインが空きすぎず滑らかであること。
- サイドの塗り残しがないこと。
- 表面に色ムラや刷毛あとがないこと。
- 皮膚にポリッシュ類がついていないこと。

## 技能検定試験申込方法と受験までの流れ

### 個人(一般)でお申し込みの場合

**受付期間内** 次のどちらかの方法でお申し込み下さい。

- I-NAIL-A ウェブサイトの申し込みフォームから申し込む。(必要事項を入力し、送信する。 → 受付完了メールが送信されます。)
- 申込書をI-NAIL-A 事務局に郵送して申し込む。(締切日必着。FAX での申し込みは受け付けておりません。)

**受付期間終了後から1週間以内** I-NAIL-A 事務局より受験料の支払用紙が送られます。

- 支払用紙に記載された期日までに記載されたコンビニエンスストアでお支払い下さい。期日までにお支払いが無かった場合は受験できません。また、期日を過ぎた後にお支払いいただいた場合につきましても受験できない場合がありますので、予めご了承下さい。
- 支払用紙の発送は、試験を申し込んだ日から1週間ではありません。受付期間終了後から1週間以内となります。
- 受付終了日から10日を過ぎても支払用紙が届かない場合は、I-NAIL-A 事務局までお問合わせ下さい。なお、受付終了日から2週間を経過した後のお問合わせにつきましては、支払用紙の発送が出来ない場合もあります。この場合受験ができませんのでご注意下さい。

**試験実施日1週間前程度** I-NAIL-A 事務局より受験票、当日のご案内が送られます。

\* 試験の受付時間、試験会場につきましては、受験票に記載してのご案内となります。

当日のタイムテーブルは、原則として以下のとおりとなります。

受付	受験票に記載された受付時間内に、モデル同伴で受付を行って下さい。 モデルの手に受験番号の記載されたシール等を貼付します。 SA級、PA/AA/AAA級受験者はアーティフィシャルネイルを施す爪を申告して下さい。 受付開始時間前の受付および会場への入場はできません。
----	--

実技試験	試験時間は受付時間終了後から審査時間を含み、A級90分、SA級105分、PA/AA/AAA級120分程度です。 学科試験免除者は実技試験終了後、退室となります。 実技試験終了後、会場内でネイル施術行為はできません。 また、会場近隣の施設(飲食店なども含む)でのネイル施術行為も禁止です。
------	--

学科試験	モデルの待機場所はあります。モデルは実技試験終了後、会場から退室となります。
------	--

**検定試験実施日から1ヶ月程度後** I-NAIL-A 事務局より以下のものが送られます。

合否通知 / 実技試験結果通知(実技試験受験者のみ) / 用紙タイプ(A4サイズ)の認定証(認定者のみ)

\* カードタイプ認定証は希望者にのみ発行いたします。(有料)

### 団体(加盟サロン/スクール)でお申し込みの場合

加盟団体の指示に従って下さい。(送付物は全て団体宛に送付されます。)

●試験日程(受付期間)、検定対策セミナー日程はI-NAIL-Aウェブサイトでご確認下さい。

●試験要項はI-NAIL-AウェブサイトからPDFファイルでダウンロードできます。  
\* PDFファイルをダウンロード(プリントアウト)できない場合は、I-NAIL-A事務局までお問合わせ下さい。

●参考テキスト『ネイル・プロフェッショナル』『ネイル・プロフェッショナル ジェルネイル編』『検定試験対応例題集』はI-NAIL-Aウェブサイトから購入できます。

●認定証(A4サイズ・用紙タイプ)の再発行、カードタイプ認定証のお申込みは、I-NAIL-Aウェブサイト「検定試験要項」ページの申し込みフォームよりお申し込み下さい。

### A級・SA級の実技試験免除制度について

I-NAIL-A認定ネイルスペシャリスト技能検定試験A級・SA級 実技試験免除指定スクールまたは指定理美容専門学校において、NSテクニカルディレクター(検定指導員)により実技試験合格の認定を受けた場合は、A級/SA級の実技試験が免除となり、学科試験のみの受験でライセンスを取得することができます。免除者には、実技試験免除番号が通知されます。  
実技試験免除制度及び実技試験免除指定スクール・指定理美容専門学校についての詳細につきましては、I-NAIL-Aウェブサイトをご参照ください。

\* 試験内容および合否に関するお問合せは、いかなる場合もお答えできません。

\* 技能検定試験申込後の申込内容(日程等)の変更、返金はいかなる場合もできません。

NPO法人 インターナショナル ネイル アソシエーション(I-NAIL-A) 事務局

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-5-1 ホックスハツミ5F TEL 03-6277-3877(平日10:00~17:30)

<http://www.i-nail-a.org>



NPO法人 インターナショナル ネイル アソシエーション 行

## ネイルスペシャリスト技能検定試験 受験申込書

申し込む級および免除科目について 該当する箇所に☑でチェックしてください。

申し込む級	免除科目の有無等	受験料(税別)
<input type="checkbox"/> A級	<input type="checkbox"/> 新規受験 <input type="checkbox"/> 再受験で免除科目がない。 <input type="checkbox"/> 再受験で免除科目がある。	10,000円 10,000円 7,000円
<input type="checkbox"/> SA級	<input type="checkbox"/> 新規受験 <input type="checkbox"/> 再受験で免除科目がない。 <input type="checkbox"/> 再受験で免除科目がある。	12,000円 12,000円 9,000円
<input type="checkbox"/> PA/AA/AAA級	<input type="checkbox"/> 新規受験 <input type="checkbox"/> 再受験で免除科目がない。 <input type="checkbox"/> 再受験で実技試験免除(学科試験のみ受験) <input type="checkbox"/> 再受験で学科試験免除(実技試験のみ受験) *認定番号がある場合は記入してください。 PA-_____ AA-_____	15,000円 15,000円 12,000円 12,000円

実技試験免除番号がある場合はこちらにご記入ください。

申し込む級	免除科目の有無等	受験料(税別)
<input type="checkbox"/> A級	<input type="checkbox"/> 新規受験 実技試験免除番号 _____ <input type="checkbox"/> 再受験 実技試験免除番号 _____	10,000円 7,000円
<input type="checkbox"/> SA級	<input type="checkbox"/> 新規受験 実技試験免除番号 _____ <input type="checkbox"/> 再受験 実技試験免除番号 _____	12,000円 9,000円

A級、SA級の実技試験でネイルマシンを使用する。(☑が無い場合、当日ネイルマシンを使用できません。)

申し込む受験日および受験会場

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 \_\_\_\_\_会場

氏名(漢字) \*再受験の方のうち、前回受験から氏名に変更がある場合は、旧氏名と新氏名の両方をご記入ください。

氏名(カタカナ)

氏名(ローマ字) \*全て大文字で記入。認定証に使用します。

住所 \*ヨミガナを記入。ビル、マンションの場合は建物名まで記入。(記入がない場合送付物が届かない場合があります。)

〒

連絡先 \*日中に連絡がつく電話番号を記入。(携帯電話可)